

2.3. 接頭辞

大きな値は、基礎となる単位の前にキロ(K)、メガ(M)、ギガ(G)などの接頭辞をつけて表します。

以下に接頭辞の一部を抜粋します。

数値	接頭辞	読み
10^{15}	P	ペタ
10^{12}	T	テラ
10^9	G	ギガ
10^6	M	メガ
10^3	K	キロ
10^{-3}	m	ミリ
10^{-6}	μ	マイクロ
10^{-9}	n	ナノ
10^{-12}	p	ピコ

上の表では、1 キロバイト = 1000 バイトとなります。

情報の世界では 2 の乗数の方が処理しやすいため、以下のように、慣用的に 1024 倍(2 の 10 乗)ごとに接頭辞を付けることが多いです。

数値	接頭辞 + 単位	読み
2^{50}	PB	ペタバイト
2^{40}	TB	テラバイト
2^{30}	GB	ギガバイト
2^{20}	MB	メガバイト
2^{10}	KB	キロバイト

上の表では 1 キロバイト = 1024 バイトとなります。

【補足説明】

- ハードディスク容量の表記で「120 GB」等を目にするが、実際の容量は、 $120 \times 1024 \times 1024 \times 1024$ バイトとなる
- 単位は、「B」の場合は「バイト」を表し、「b」の場合は「ビット」を表す